

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※◎:警報レベル

○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県) 第1～6週
	第5週	第5週	第6週	増減	第5週	第6週	増減	第5週	第6週	増減	第5週	第6週	増減	第5週	第6週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	268811 54.33	2394 ◎49.88	1920 ◎40.00	▽	1112 ◎55.60	840 ◎42.00	▼	124 ○24.80	88 ○17.60	▽	578 ◎57.80	462 ◎46.20	▼	580 ◎44.62	530 ◎40.77	▽	9137
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	1420 0.45	14 0.47	14 0.47		9 0.69	13 1.00	△	1 0.33		▼	3 0.50	1 0.17	▼	1 0.13		▼	109
咽頭結膜熱	984 0.31	21 0.70	20 0.67	▽	16 1.23	13 1.00	▽				3 0.50	1 0.17	▽	2 0.25	6 0.75	△	106
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8245 2.61	131 4.37	170 5.67	△	44 3.38	75 5.77	△	15 5.00	13 4.33	▽	58 ◎9.67	69 ◎11.50	△	14 1.75	13 1.63	▽	819
感染性胃腸炎	16159 5.11	171 5.70	125 4.17	▽	72 5.54	44 3.38	▽	14 4.67	3 1.00	▽	39 6.50	28 4.67	▼	46 5.75	50 6.25	▲	789
水痘	796 0.25	28 0.93	14 0.47	▽	3 0.23	2 0.15	▽	2 0.67	3 1.00	△	9 1.50	4 0.67	▽	14 1.75	5 0.63	▽	112
手足口病	564 0.18	15 0.50	12 0.40	▼	12 0.92	9 0.69	▼	2 0.67	3 1.00	△	1 0.17		▼				122
伝染性紅斑	223 0.07	7 0.23	3 0.10	▽	1 0.08	1 0.08					5 0.83	2 0.33	▽	1 0.13		▽	28
突発性発しん	964 0.30	9 0.30	9 0.30					1 0.33		▽	4 0.67	6 1.00	△	4 0.50	3 0.38	▽	63
ヘルパンギーナ	53 0.02	1 0.03	1 0.03		1 0.08		▽					1 0.17	△				11
流行性耳下腺炎	463 0.15	1 0.03	3 0.10	△		1 0.08	△				1 0.17	1 0.17			1 0.13	△	23
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	11 0.02																
流行性角結膜炎	449 0.64		1 0.13	△										1 0.50		△	7
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	38 0.08	3 0.30		▽	3 0.75		▽										3
クラミジア肺炎	5 0.01																
マイコプラズマ肺炎	71 0.15	1 0.10	4 0.40	△		4 1.00	△	1 1.00		▽							28
細菌性髄膜炎	14 0.03	1 0.10	1 0.10											1 0.33	1 0.33		3
無菌性髄膜炎	6 0.01																1

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者			3		
腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	1				型別:O血清群不明 VT1。
百日咳	患者	2				百日咳ワクチン接種歴:4回 1件、不明 1件。
侵襲性肺炎球菌感染症	患者		1			※第5週追加報告分。肺炎球菌ワクチン接種歴:不明。

<通信欄>

インフルエンザウイルスの型別、集団発生情報等については2ページ目のトピックスをご覧ください。

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ	3	15	70	84	103	135	125	189	180	162	115	420	54	22	
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
	64	57	32	53	19	18									1920
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症		4	5	5											14
咽頭結膜熱		1	9	1	3	1	3	1	1						20
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	7	11	16	17	28	29	16	12	11	19	1	2	170
感染性胃腸炎		1	12	17	7	11	8	15	8	8	7	24	4	3	125
水痘		1	2	3	1	1		3	3						14
手足口病		2	1	1	3	3		2							12
伝染性紅斑						1	1					1			3
突発性発しん		4	3	1	1										9
ヘルパンギーナ					1										1
流行性耳下腺炎						1	1			1					3

< 平成29年12月 月報 >

2018年1月17日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～12月	
	11月	12月	11月	12月	11月	12月	11月	12月	11月	12月		
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	12	18	6	9	4	6	2	1		2	220
	定点当り	1.20	1.80	1.50	2.25	4.00	6.00	1.00	0.50		0.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	5	4		2	1		3	2	1		72
	定点当り	0.50	0.40		0.50	1.00		1.50	1.00	0.33		
尖圭コンジローマ	報告数	2	6		2			1	2	3		27
	定点当り	0.20	0.60		0.50			0.50	0.67	1.00		
淋菌感染症	報告数	3	2	1					2	2		36
	定点当り	0.30	0.20	0.25					0.67	0.67		
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	6	4			2				4	4	76
	定点当り	0.60	0.40			2.00				1.33	1.33	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	20	19	3	6			3	2	14	11	258
	定点当り	2.00	1.90	0.75	1.50			1.50	1.00	4.67	3.67	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数	1	1	1	1							4
	定点当り	0.10	0.10	0.25	0.25							

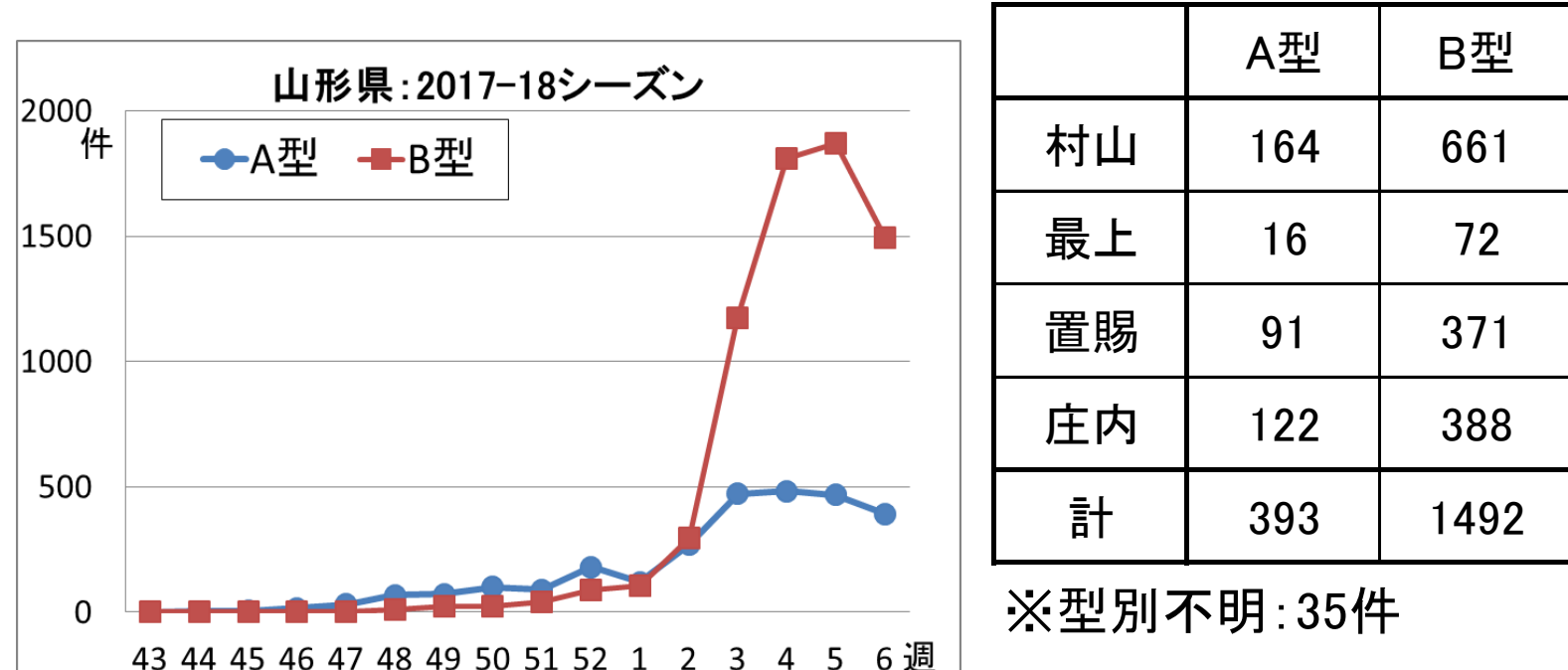
< トピックス >

【インフルエンザ情報】

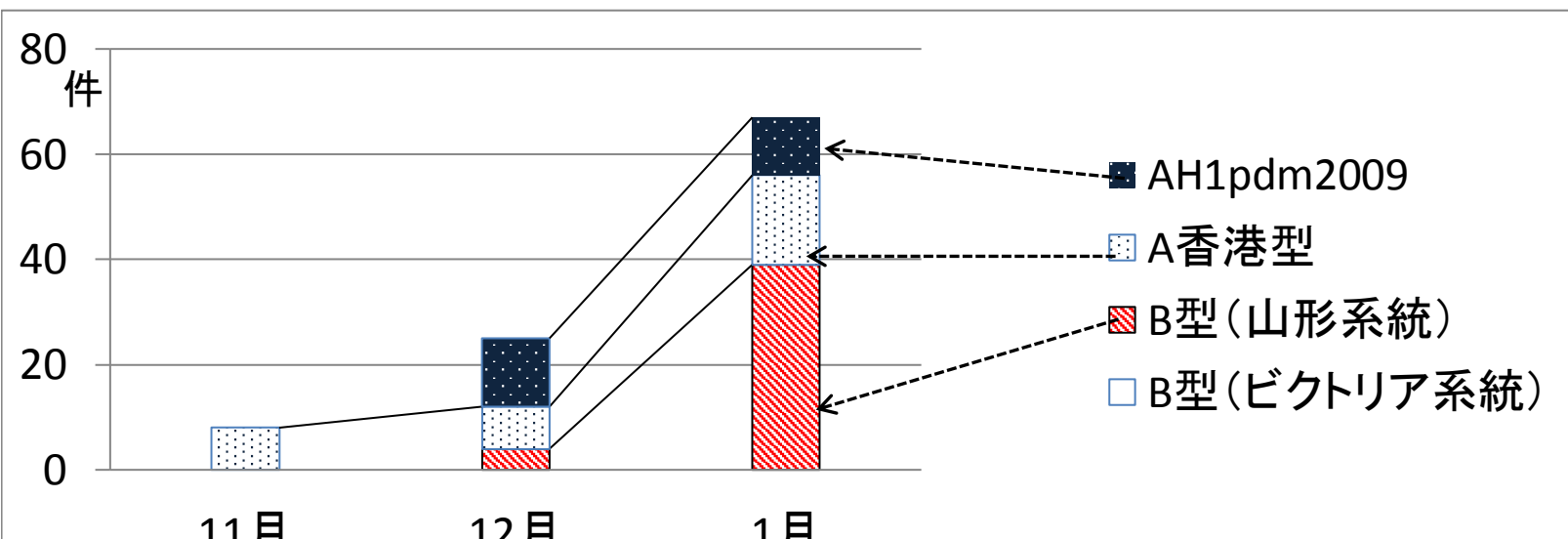
インフルエンザの定点当たり報告数が、村山地区、置賜地区、庄内地区で警報レベル、最上地区で注意報レベルとなり、県全体の定点当たり報告数も警報レベルとなっています。

・インフルエンザ
警報開始基準値:30人 警報終息基準値:10人 注意報基準値:10人
・第6週 定点当たり報告数 (山形県:40.0人)
村山地区 42.0人、最上地区 17.6人、置賜地区 46.2人、庄内地区 40.8人

1 迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数(第6週)



2 インフルエンザウイルス分離状況 (衛生研究所 2月7日現在)

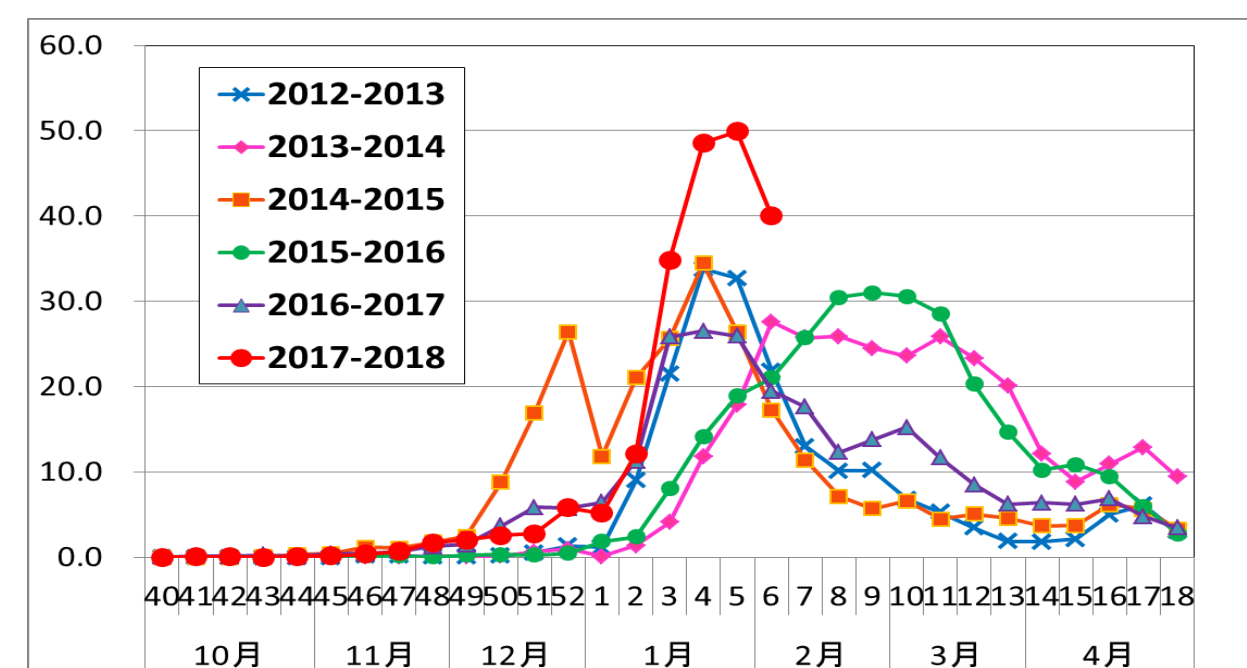


3 集団発生情報(山形県健康福祉企画課まとめ 第6週)

	村山	最上	置賜	庄内	合計	前週
幼稚園・保育所	10	0	7	8	25	33
小学校	16	1	5	11	33	30
中学校	2	3	0	3	8	14
高校	3	1	1	2	7	4
福祉施設	0	0	0	0	0	2
その他	0	0	0	1	1	3
合計	31	5	13	25	74	86

※数字は施設数(措置なしを含む)

4 定点当たり報告数の推移(山形県)



インフルエンザは感染力が強く、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が拡大します。こまめな手洗いと咳エチケット、マスク着用などで「かからない」、「うつさない」を心がけましょう。かかったなと思ったら、症状が軽くても無理をして出勤したり登校したりすることは禁物です。早めに医療機関を受診し、発熱後5日を経過し、かつ解熱後2日間(幼児は3日間)は自宅で静養しましょう。